

林業安全コラム

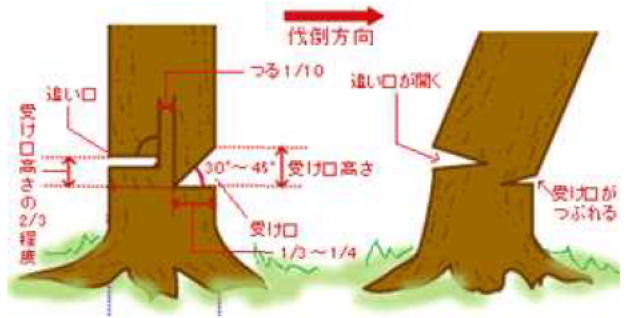
怖いのは 慣れた作業と その油断

◆ 林業労働災害の発生について

以下の事例は、都道府県から報告いただいた労働災害の概要です。類似災害の防止のために公表しています。

○事例1

被災者は事業者及び同僚3名と共に、作業道開設のため支障木の伐倒作業に従事していた。なお、当日は強い風が吹いていた。また、この場所の傾斜は約25度であった。(以下は推定)被災者がスギ立木を斜面上方に伐倒しようとして、追い口を切り進めている最中、この伐倒木(胸高直径36cm、樹高27m)が強風により伐倒方向に強く押されたことから、幹が縦方向に裂けて、そのまま斜面下方に被災者を巻き込むようにズレ落ちてきたものと思われる。



【災害防止としては、・強風時の作業は控える。・伐倒時の裂けを防ぐため芯抜きの対策を取る。等】

○事例2

被災者は同僚6名で搬出間伐作業に従事していた。被災者は林内作業車に間伐材を積載しバックで運搬作業を実施していた。(以下は推定)林内作業車を走行させながら、キャビンから身を乗り出して後方若しくは地面等の状況を確認していたところ、立木とキャビン外側に頭部を挟まれ被災したと思われる



【災害防止として、・正しい操作方法で行う。・林内作業車の回転ヤードを確保する。等】

◆ 高性能林業機械の保有状況

平成23年度末の保有台数は、枝払い・玉切り・集積作業を行うプロセッサ、運材用のフォワーダ、伐倒・枝払い・玉切り・集積作業を行うハーベスタの順に、総台数5,089台、前年度に比べて418台の増加となっています。

機種	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	保有台数	比率	保有台数	比率	保有台数	比率
フェラーバンチャ	69	1.6%	85	1.8%	101	2.0%
ハーベスタ	722	17.2%	836	17.9%	924	18.2%
プロセッサ	1,238	29.5%	1,312	28.1%	1,369	26.9%
スキッド	141	3.4%	141	3.0%	142	2.8%
フォワーダ	1,083	25.8%	1,213	26.0%	1,349	26.5%
タワーヤード	155	3.7%	148	3.2%	149	2.9%
スイングヤード	655	15.6%	708	15.2%	752	14.8%
その他の高性能林業機械	131	3.1%	228	4.9%	303	6.0%
合計	4,194	100.0%	4,671	100.0%	5,089	100.0%

注) 林野庁業務資料。 国有林野事業で所有するものは除いている。

◆ 車両系林業機械の安全対策に係る検討会について

厚生労働省では、林業現場で使用されている自走可能な林業機械に係る安全対策についての第1回検討会が4月22日に開催されました。第2回開催は5月13日の予定です。詳細は下記のホームページを参照して下さい。

URT:<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000aiuu.html>

農林水産省では5月1日から、地球温暖化防止及び節電の取組みが重要であることから、昨年度同様、クールビズの開始となりました。

林業労働対策室
労働安全衛生班